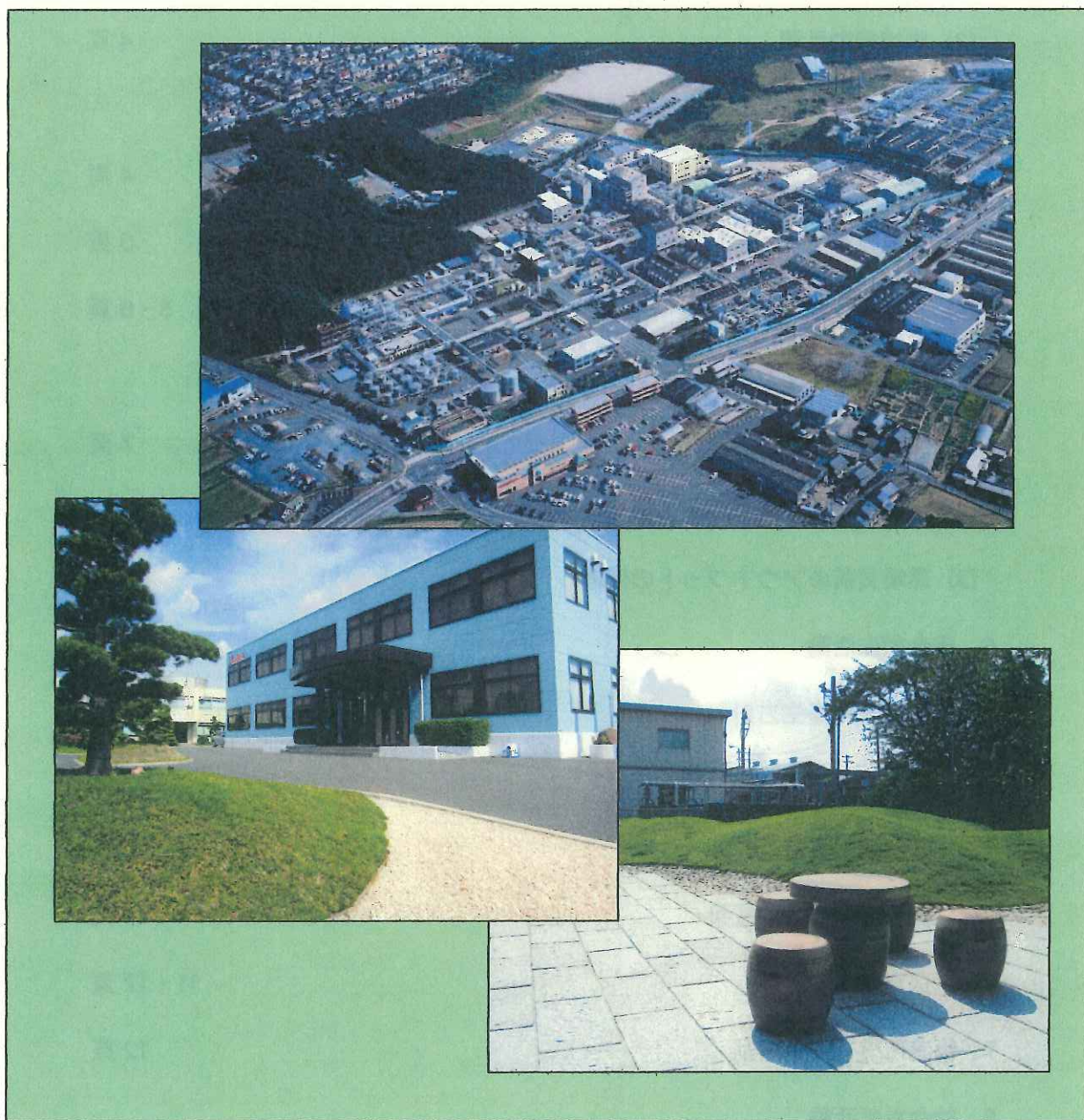


# 環境・安全レポート

(レスポンシブル・ケア活動報告)

2012年版



株式会社 **ADEKA**

三重工場

## 目次

1. ごあいさつ	2 頁
2. 三重工場の概要	3 頁
3. 環境保全活動	
(1) 環境方針	4 頁
(2) 環境行動目標	4 頁
4. 環境マネジメントシステムの状況	
(1) 環境管理推進組織	4 頁
(2) 環境教育      (3) 環境会計	5 頁
(4) グリーン購入	5・6 頁
5. 環境パフォーマンス	
(1) 生産量の推移	7 頁
(2) 環境負荷のインプットの低減	7 頁
(3) 環境負荷のアウトプットの低減	8 頁
6. 安全衛生活動	
(1) 労働安全衛生方針	10 頁
(2) 労働安全衛生活動目標	10 頁
(3) 安全衛生教育	10 頁
(4) 安全衛生活動の成果	11 頁
(5) 保安活動	11・12 頁
7. 物流環境・安全活動	12 頁
8. 社会貢献活動	
(1) 地域とのコミュニケーション	12・13 頁
(2) 清掃活動	13 頁
アンケート	15 頁



# 1. ごあいさつ

現在、我が国では「持続的発展が可能な社会」を構築するための諸整備を進める中、政府は2020年までに1990年度比で温室効果ガスの25%削減を目指すという挑戦的な目標を打ち出しました。化石燃料への依存を断ち切り、低炭素社会へと大きく舵を切る決断でありました。

しかしながら2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、原子力発電を主要な柱としたエネルギー基本計画自体の見直しを余儀なくされております。

弊社は健康で豊かな社会の実現に貢献すべく、企業理念や経営戦略と一体化したCSRに基づく企業活動を展開しています。「**新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す**」、「**世界とともに生きる**」という経営理念のもと、環境保全と経済発展とを両立させるという命題に対して、全社的に取り組んできております。

当三重工場は1965年の開設以来、プラスチック用樹脂添加剤や情報化学品材料等を製造してきましたが、従来から「環境保全は工場の発展・存続のための最重要インフラ」と位置づけ、同業他社に先駆け環境保全の管理を向上させてきました。これを徹底させるための国際基準である「ISO14001：環境マネジメントシステム」の認証登録を1996年12月に受け、2005年には2004年度版への移行を完了しました。また、安全対策も環境保如同様に重要との認識の下に、「OHSAS18001：労働安全衛生マネジメントシステム」の適合証明を2000年9月に受け、2008年8月には2007年度版への移行を行いました。

当社の需要家、株主、地域住民の方々、また工場で働く従業員にとって、安全であり且つ信頼される工場であり続けられるように、今後とも工場労使一体となって更なる改善・改革に取り組んでいく所存です。

本報告書は、2011年度の当三重工場の安全・環境に対する取組みとその成果を集大成したものです。2011年度は、環境面では①公害と苦情の撲滅、②省エネルギーの推進、③廃棄物削減、④グリーン調達推進、⑤ゼロエミッションの推進を目標として掲げ、取り組んでまいりました。また安全面では、労働災害と通勤途上災害を0件とすること（ゼロ災の達成）を目標として掲げ、安全活動を展開してまいりました。

2012年度は2011年度の結果を踏まえた上で、前年度以上に継続的な改善・改革に取り組んでまいります。

当三重工場は、地域に根ざした市民企業として、行政や地域社会とのパートナーシップの強化にさらに努め、あらゆる機会を通じ地域の発展と環境保全に尽力し、「環境調和型企业」の実現に向けて努力をしていきます。

当三重工場の環境保全・安全対策の諸活動を皆様にご理解頂くと共に、皆様からのご意見・ご指導をいただければ幸いです。

2012年 9月

株式会社  ADEKA  
三重工場長

山田芳雄

## 2. 三重工場の概要

### 【沿革・事業内容・工場運営】

株式会社 ADEKA 三重工場は樹脂添加剤、情報化学品材料等の製造を行っています。当工場は、樹脂添加剤の一つである塩化ビニル用安定剤製造を目的とし、1965年にアデカ・アーガス化学株式会社三重工場として開設しました。1990年に旭電化工業株式会社と合併し、旭電化工業株式会社三重工場となりました。旭電化工業株式会社は、2006年5月1日に社名を株式会社ADEKAと変更し、新たな一歩を踏み出しました。

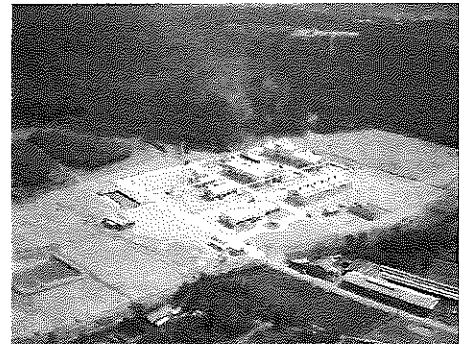
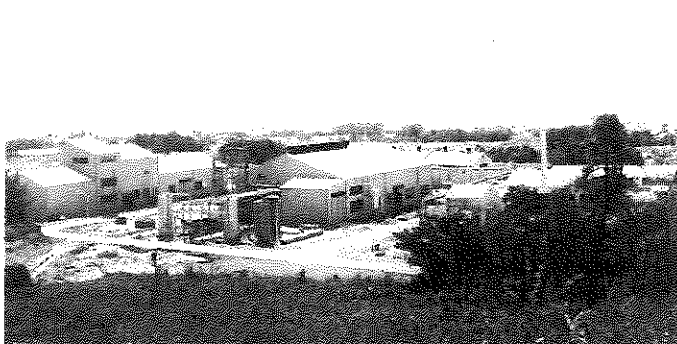
三重工場は三重県桑名市郊外の多度山麓の田園地帯にあり、現在では塩化ビニル用安定剤、塩化ビニル・ゴム用可塑剤、ポリオレフィン用抗酸化剤、光安定剤などの樹脂添加剤、感熱紙用添加剤、液晶パネル用画像材料、DVD用光記録色素などの情報化学関係の材料を製造しているファインケミカルの工場に発展いたしました。

緑豊かな田園地帯に立地することから、工場開設時より環境に配慮した活動を進めてきました。より一層環境に優しい工場を目指し、1996年12月に国際環境マネジメントシステムISO14001を認証取得し、これにより活動を展開しています。

労働安全衛生管理は従来の活動をマネジメントシステムにまとめ、BS 8800を基本とした労働安全衛生マネジメントシステム、OHSMSの適合証明を2000年9月に財団法人日本品質保証機構（JQA）より受け活動してきましたが、2001年9月にOHSAS18001への移行を行いました。

品質管理についても1993年5月に国際品質管理システムISO 9002を認証取得しました。規格改正により、2002年7月にISO9001（2000年度版）、2009年7月にISO9001（2008年度版）への移行を行い、これにより管理しています。

また、TPM活動にも取り組み1989年TPM優秀賞第Ⅱ類、その後1995年にTPM優秀賞第Ⅰ類を受賞しました。三重工場は5S活動の基礎の上に環境、労働安全衛生、品質、設備保全の4つの安全を目標に掲げ、地域住民、顧客、働く人たちに安全・安心を与える、磐石な体制で運営を行っています。また、2011年度からはMCFS-5G（MCFS=Mie Continuous Five S）と称し5Sを基本とした①事故・災害を発生させない現場づくり、②公害を発生させない現場づくり、③異物・品質不良を発生させない現場づくり、④工程停止を発生させない現場づくり、⑤工場貢献利益を拡大できる現場づくり、を目指し、安心して働ける職場造りを目指した独自の活動を進めています。更に、今日では事業のグローバル化と共に、海外7カ国に展開する関連会社や工場の技術指導・援助等の技術センターとして重要な役割も果たしています。



1965年 工場開設時の全景

### 【工場概要】

開設	1965年（昭和40年）10月
敷地	118,331㎡（約35,800坪）
従業員	177名（再雇用12名、嘱託5名を含む）2012年9月1日現在
常駐協力会社：	105名（ADEKA総合設備㈱、ADEKA物流㈱、三重加工サービス㈱）
組織	2部10課
勤務形態	日勤、2班2交代、4班3交代

### 3. 環境保全活動

#### (1) 環境方針

三重工場では下記の環境方針を策定し、方針に従って活動しています。

#### 三重工場環境方針

##### <理念>

(株) ADEKA 三重工場は、自然豊かな地域に立地している化学工場であることを認識し、環境保全への取り組みを工場運営の最重要課題のひとつと位置づけ、環境と調和した活動を推進し、環境にやさしい工場作りを目指します。

##### <方針>

- 法規制の遵守と継続的改善  
環境に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守すると共に、技術的・経済的に可能な範囲で環境保全の継続的改善に努めます。
- 環境負荷の低減  
工場活動が環境に及ぼす影響を捉え、持続可能な目的・目標を設定し廃棄物・エネルギー等の環境負荷の低減に努めます。
- 環境保全意識の高揚  
環境教育・啓蒙活動を通じて、従業員一人一人が環境保全意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組みます。
- 対外連携の促進  
地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実に図り、社会に安心と信頼を与える工場作りに努めます。

2012年6月22日

株式会社 ADEKA 三重工場長 山田芳雄

#### (2) 環境行動目標

2011年度は、次の目標を掲げ活動してきました。

##### 目標

##### 1. 環境保全

- ① 工程別管理の強化による省エネ活動の推進と効果の明確化
- ② CO<sub>2</sub> 排出量削減活動の推進と 2020 年度までの実行計画の立案と推進
- ③ 産業廃棄物の品種別指標の導入による削減効果の明確化と個別改善活動による削減
- ④ グリーン購入の積極的推進
- ⑤ ゼロエミッションの推進と完全ゼロエミ達成推進

##### 2. 継続的管理目標

- ① 公害・苦情の発生 0 件
- ② 省エネルギーの推進 原単位比で対前年 1%改善
- ③ 産業廃棄物削減（添加剤工程） 原単位比で対前期 2%改善
- ④ グリーン調達の推進 指定 38 品目で 85%達成
- ⑤ ゼロエミッションの推進 最終埋め立て比率を 0.5%未満に削減

### 4. 環境マネジメントシステムの状況

#### (1) 環境管理推進組織

三重工場では、早くから環境管理に取り組み、1996年には国際規格 ISO 14001 の認証を取得し、環境マネジメントシステムを導入しています。規格改訂に伴い、2005 年度には ISO14001 : 2004 年度版に更新しています。このシステムでは常駐協力会社を含む全ての部門及び階層の役割、責任、

権限について明確に規定しています。

(2) 環境教育

組織のために働く全ての人々に対して、環境マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図ります。全員のレベル向上と環境の継続的改善を進めるための教育訓練計画を全ての部署で作成し、それに則り教育訓練を行っています。また、公的資格の取得にも努め、多数の資格を取得しています。資格者一覧を次に示しました。

表-1 主たる資格の取得者一覧表 2012年8月末現在

該当法規制	資格名称	必要者数	取得者数
大気汚染防止法	公害防止管理者 大気1種、2種	2名	7名
水質汚濁防止法	公害防止管理者 水質1種、2種	2名	15名
廃棄物処理法	産業廃棄物焼却施設技術管理士	1名	2名
"	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	1名	1名
"	特別管理産業廃棄物管理責任者講習修了者	1名	5名
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者技能講習修了者	27名	142名
"	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習修了者	27名	134名
"	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者	29名	143名
"	第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習修了者	13名	86名
"	乾燥設備作業主任者技能講習修了者	9名	47名
"	フォークリフト免許取得者	86名	163名
"	クレーン運転業務特別教育修了者	21名	120名
"	1級ボイラー技士	4名	11名
"	2級ボイラー技士	4名	19名
"	ボイラー整備士	0名	7名
"	第1種 衛生管理者	1名	1名
消防法	危険物取扱者甲種	0名	37名
"	危険物取扱者乙種4類	28名	139名
"	危険物取扱者乙種4類以外	7名	37名
省エネ法	エネルギー管理士	1名	4名
高圧ガス保安法	高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械）	1名	1名
"	高圧ガス製造保安責任者（乙種化学、丙種化学）	4名	17名
計量法	主任計量者（質量に係る計量証明事業）	1名	4名
電気事業法	第2種 電気主任技術者	1名	1名
"	第3種 電気主任技術者	0名	1名
"	高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育	1名	1名

(3) 環境会計

2011年度の設備投資は、前年度に対し40.8%増加しております。内、環境設備投資額の占める割合は老朽化設備の維持更新、省エネ化の推進により2.4%上昇致しました。又、省エネルギー・原材料削減効果は前年度に比べ、着実に効果を出しています。

表-2 環境会計 単位 千円

	2010年度	2011年度
期間中の総設備投資額	759,152	1,068,642
期間中の環境設備投資額	85,995	147,226
期間中の省エネルギー効果	5,657	6,100
期間中の原材料削減効果	1,050	22,628

(4) グリーン購入

三重工場で使用する文具については、290品目から328品目に増加(△13.1%)しました。この内、エコ商品が市販されているのは272品目に増加となり、市販されている物は全てエコ商品を採用しました。又、文房具以外の事務用品については117品目に増加(△0.9%)となりましたが、107品目について全てエコ商品を採用しました。結果、グリーン購入比率は、文具では82.9%、文具以外では92.9%、



全体では 85.4%と僅かながらエコ商品購入比率は上昇し、目標の 85%を達成することが出来ました。

表-3 グリーン購入比率

文房具	2010 年度	2011 年度	文房具以外	2010 年度	2011 年度
①総購入文房具数	290	328	⑤購入数	117	118
②エコ商品市販数	240	272	⑥エコ商品市販数	107	109
③エコ商品購入数	240	272	⑦エコ商品購入数	107	109
④購入比率 (%)	82.8	<b>82.9</b>	⑧購入比率 (%)	91.5	<b>92.4</b>

## 5. 環境パフォーマンス（環境保全への取り組みと改善状況）

表-4 インプットとアウトプットのまとめ

INPUT			
<b>【エネルギー】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	電力(原油換算量) (kℓ)	<b>3,844</b>	<b>▲3.7</b>
	蒸気(原油換算量) (kℓ)	<b>3,424</b>	<b>▲6.3</b>
	廃油焼却(原油換算量) (kℓ)	<b>949</b>	<b>+7.2</b>
<b>【水】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	地下水汲み上げ量 (千 t)	<b>1,753</b>	<b>+7.4</b>
OUTPUT			
<b>【大気】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	CO <sub>2</sub> 発生量 (t)	<b>19,223</b>	<b>▲2.9</b>
	NO <sub>x</sub> 排出量 (t)	<b>13.0</b>	<b>+1.6</b>
	NO <sub>x</sub> 排出濃度 (ppm)	<b>52,51</b>	<b>▲1.9</b>
<b>【化学物質】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	PRTR 物質排出量 (t)	<b>0.11</b>	<b>▲35.3</b>
	廃棄物への移動量 (t)	<b>7.89</b>	<b>▲67.4</b>
<b>【水域】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	COD 発生量 (t)	<b>2.3</b>	<b>+27.8</b>
	BOD 発生量 (t)	<b>0.8</b>	<b>+14.3</b>
	水の循環量 (千 t)	<b>751</b>	<b>+14.8</b>
<b>【製品】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	製品生産量 (t)	<b>12,567</b>	<b>▲5.5</b>
	全生産量(中間体含む) (t)	<b>21,836</b>	<b>▲7.5</b>
<b>【廃棄物】</b> 	項目	2011 年度実績	対前年比 (%)
	廃棄物発生総量 (t)	<b>12,471</b>	<b>+4.9</b>
	外部委託量 (t)	<b>4,627</b>	<b>▲9.3</b>
	最終埋め立て量 (t)	<b>28</b>	<b>+3.7</b>
	ゼロエミ比率 (%)	<b>0.22</b>	<b>▲4.3</b>



(1) 生産量の推移

2008年9月に発生し、世界経済の活動に波及したリーマンショック以降、タイの洪水、EUの金融不安等を発端とした長引く経済不振により、三重工場の生産活動も影響を受けました。

2011年度においては、製品自体の生産量は12,567tと対前年比▲5.5%、中間体を含む総生産量は21,836tと対前年比▲7.9%に減りました。

汎用製品のグローバル展開を進める一方で、複雑な中間体生産工程を経る高機能製品、新規製品の生産量が増加しています。

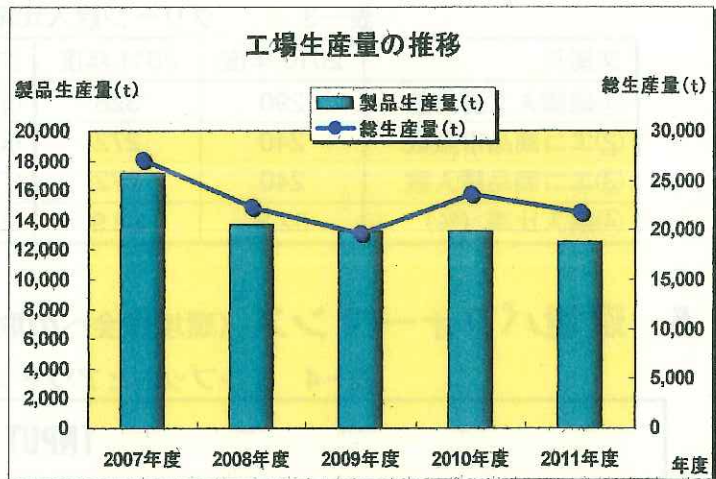


図-1 工場生産量の推移

(2) 環境負荷のインプットの低減

1) エネルギー使用量

工場で使用されるエネルギーは、原材料の加熱用蒸気を発生させるために使用する都市ガスと、動力・照明に使用する電力に分けられます。

2011年度については、全生産量(中間体生産工程含む)の増加に伴い、製品1t当りのエネルギー使用量(原単位)は、0.583kℓ/tとなり、前年比△5.2%の悪化となりました。生産効率を高める工程改善を進め、エネルギー効率を高める努力を進めてまいります。



図-2 エネルギー使用量と原単位

2) 地下水使用量

三重工場では飲料水を含め、構内で使用する水は全て地下水により賄っています。工場構内に掘られた井戸から汲み上げられた地下水は、各工程で使用された後、工場から排出されています。地下水を有効に利用するため、冷却塔で冷却し、再利用を図っています。

2011年の地下水汲み上げ量、製品1t当りの使用量(原単位)共に工程の複雑な高機能製品の生産比率の増加に伴い、2010年より増加する結果となりました。



図-3 地下水汲み上げ量と原単位



(3) 環境負荷アウトプットの低減

1) 大気への排出量

① CO<sub>2</sub>発生量

三重工場では前述のように、生産活動に多くのエネルギーを使用しており、生産活動に伴ってCO<sub>2</sub>が発生します。CO<sub>2</sub>の発生量は購入電力を含んだエネルギーの使用量に比例しています。

2011年度は2010年度に比べ、総生産量(中間体生産含む)の減少(エネルギー使用量の減少)に伴い、CO<sub>2</sub>の発生量も減少する結果となりました。しかし、原単位では品種構成の変化に伴い、△2.8%悪化した結果となりました。

② NO<sub>x</sub>排出量

三重工場ではプロセスの熱源として蒸気を必要とするため、ボイラーを設置しています。2004年度以降はボイラーの燃料転換(重油⇒LNG)により、SO<sub>x</sub>の排出はなくなり、NO<sub>x</sub>の排出量総量もそれ以前に比較して減少しています。NO<sub>x</sub>の排出濃度の実測値は漸減傾向にあり、規制値の150ppmは十分に下回っています。

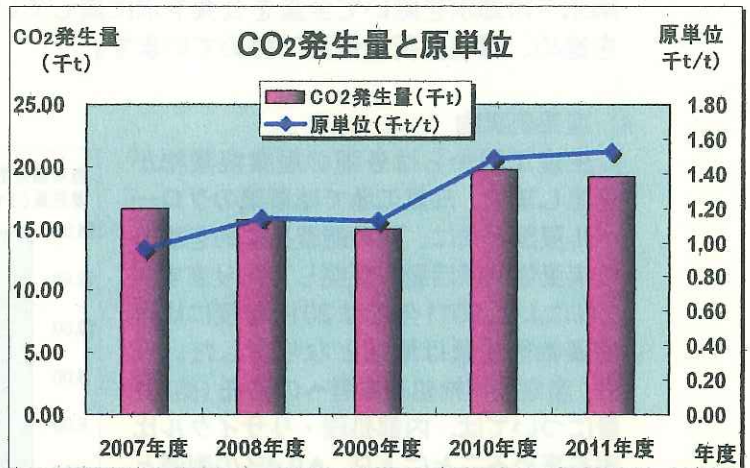


図-4 CO<sub>2</sub>発生量と原単位

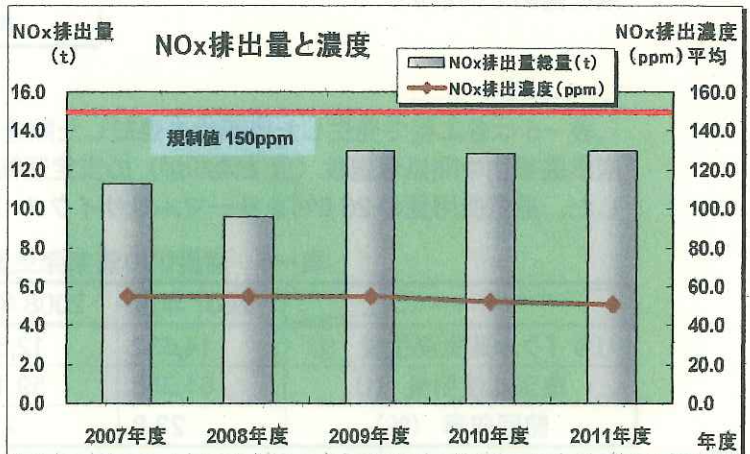


図-5 NO<sub>x</sub>排出量と濃度

2) 有害化学物質の排出・移動

三重工場では原料として多くの化学物質を使用しています。製品の多様化により、原料の種類も増加しており、国の定めるPRTR法の対象となる第一種指定化学物質の内、年間取扱量が1tを越える品目の数は2011年度では25物質となりました。その取扱量について2011年度は、規制対象の化学物質からの転換もあり、前年度に比較して▲47.4%と大幅減少となりました。排出量についても2011年度は前年度に比較して35.7%の削減。移動量については前年度に比較して67.4%の削減となりました。

今後も有害化学物質については、取扱量、排出量、移動量の削減に努力していきます。

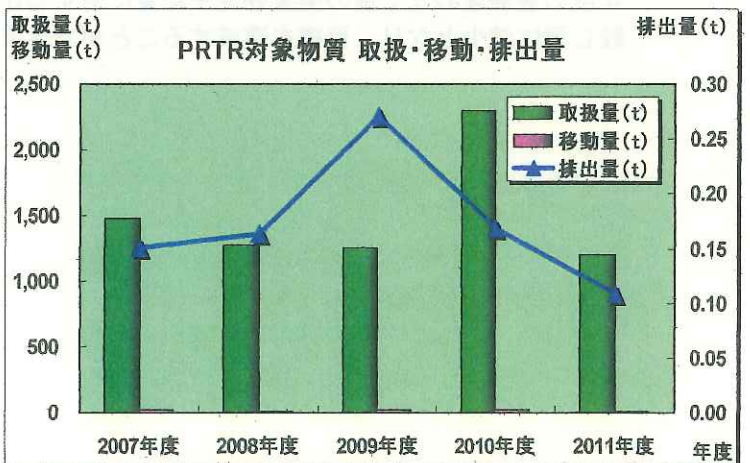


図-6 PRTR対象物質 取扱・移動・排出量



### 3) 水域への排出量と推移

工場の製造工程からは1日に約300tの廃水が発生します。廃水は活性汚泥処理を行った後、雨水・冷却水を除いて全量を公共下水道に流しています。工場廃水については工程改善や設備改善を進め、環境負荷の低減に努めています。

### 4) 産業廃棄物

生産工程からは各種の産業廃棄物が発生します。三重工場では事業のグローバル展開と共に、高機能製品に的を絞った廃棄物削減活動を展開しております。これにより、2011年度は2010年度に比べ廃棄物発生量は増加となりました。一方、産業廃棄物処理業者への委託(処理)量については、内部処理・リサイクル比率を高めることにより、▲9.4%の削減となりました。今後も産業廃棄物の内、利用できるものは再利用し、資源の有効利用に努めています。

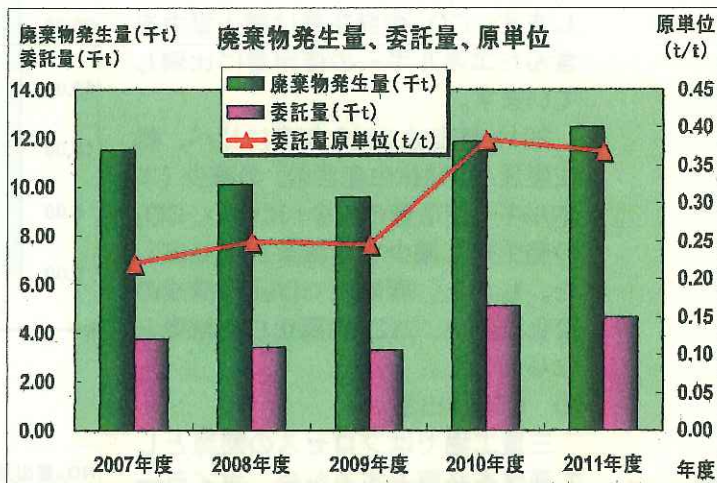


図-7 廃棄物発生量と原単位

表-5は各工程で発生した廃棄物を焼却した熱を利用して発生した蒸気量を示します。2011年度は産業廃棄物中間処理施設(廃油焼却炉)の安定運転に努め、リサイクルによる蒸気発生量も増加しました。蒸気使用量の26.6%をサーマルリサイクル(熱回収)により賅っています。

表-5 産廃炉の蒸気発生量と熱回収率

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
リサイクル蒸気発生量 (t)	14,632	12,665	10,974	14,239	17,295
蒸気総使用量 (t)	61,558	59,102	56,305	64,214	64,939
熱回収率 (%)	23.8	21.4	19.5	22.2	26.6

産業廃棄物のゼロエミッションに向けた取り組みは、ADEKA 全社として2011年度の最終埋め立て量を廃棄物発生総量の0.5%未満にすべく、最終埋め立て量の削減を進めてまいりました。結果、2011年度の最終埋め立て量の廃棄物発生総量に対する比率(ゼロエミ比率)は0.15%となり、前年度に比較し更に減少となり、目標を達成することができました。



## 6. 安全衛生活動

### (1) 労働安全衛生方針

### 三重工場労働安全衛生方針

<理念>  
㈱ADEKA 三重工場は、社会の一員として労働安全衛生が工場活動の基盤であることを認識し、安全で快適な職場作りを推進すると共に、社会に安心と信頼を与える工場作りを目指します。

<方針>

- 法規制の遵守  
労働安全衛生に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守します。
- 安全・健康の確保  
取り扱い物質および設備の性質を把握し、取り扱い方法・設備の適正な管理を実施し、傷害及び疾病を予防します。適正な目標を定め、作業環境並びに労働安全衛生パフォーマンスの継続的改善に取り組みます。
- 労働安全衛生意識の高揚  
教育・啓蒙活動を通じて、従業員一人一人が労働安全衛生意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組みます。労働安全衛生目標を設定し、目標を実行するための方向性を示します。
- 対外連携の促進  
地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実を図り、社会に安心と信頼を与える工場作りに努めます。

2012年 6月 22日  
株式会社 ADEKA 三重工場長 山田芳雄

### (2) 労働安全衛生活動目標

2011年度は、次の目標を掲げ活動してきました。

#### 目標

1. 労働安全・保安防災の先取管理の強化
  - ① 重点作業について、リスクアセスメントの強化（見直し）と階層に従った対策の実行
  - ② 工場内ルールの遵守と日常安全活動の強化による労働災害の発生防止
  - ③ 試作・試行時の事前安全性評価の確実な実施
  - ④ 若年層（5年以内の異動者含む）への体験学習教育の実施
  - ⑤ 保安体制の強化、大規模地震を想定した危機管理
2. 継続的管理目標（年間）

① ヒヤリハット報告	1,000件以上	
② STOP-MIE	280件以上	
③ 危険予知	2,600件以上	
④ 安全提案	720件以上	（内、安全改善 720件以上）
⑤ 安全ワンポイント	380件以上	

### (3) 安全衛生教育

労働安全衛生マネジメントシステムでは、工場の全部門の役割、責任、権限を遂行するために、全ての従業員に労働安全衛生マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図り、必要な資格等の取得を進めています。その方策として、各部署で教育・訓練計画を作成し、それに則り教育・訓練を行っています。

(4) 安全衛生活動の成果

1) 2011 年度の安全活動【月別安全キャンペーン】

三重工場では従来からヒヤリハット活動、STOP-MIE 活動などの展開により、災害発生防止に努めてきました。2011 年度の取組みでは、月別安全キャンペーンの実施し、日常の生産活動における安全意識を高めてきました。更に、基本の安全教育を徹底し、再発防止に取り組んでいます。

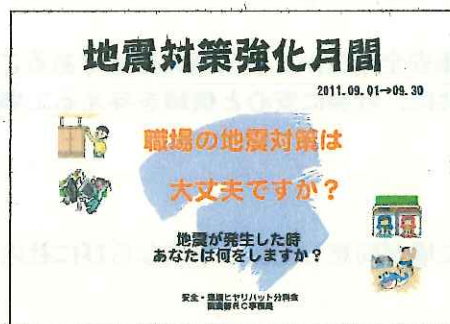


図-8 安全キャンペーン (9月)



図-9 安全キャンペーン (11月)

2) 安全成績

2011 年度は災害ゼロの目標に対し、微傷災害・通勤災害が合計で2件発生しました。この災害はいずれも工程運転中の重大な災害ではなく、軽微なものでした。ゼロ災は未達成となりましたが、件数自体は減少することができました。

近年の傾向として、危険予知の不十分な若年層の災害、通勤途上における災害が発生しています。この点を踏まえ、再発防止に万全を期して、安全活動を展開しています。

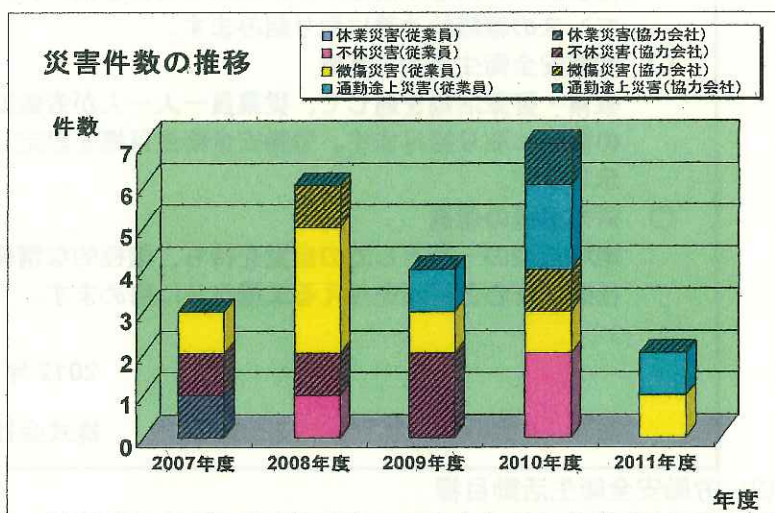


図-10 災害件数の推移

(5) 保安活動

【緊急事態への対応】

地震などの天災による、不慮の事故の発生に対して、企業は緊急時の手段を明確にしておかなければなりません。三重工場も当然のことながら、緊急時の対応について、基準・標準等に規定して対策をしています。火災やガス洩れなどの緊急事態に対しては、初期段階で検知し警報を発するシステムを備えています。更に、発生部署での初期緊急対応の体制と、工場全体での緊急時のために組織された保安出動隊が出動する体制を敷いています。

初期緊急対応と保安出動隊の要員は消防操法・救急救命等、十分に訓練され経験のある従業員で構成されています。2011 年度は、8 月 11 日に震災発生に伴う火災発生を想定した緊急対応訓練、避難訓練、桑名市消防本部の協力も得、合同による保安出動隊の訓練を実施しました。



南海トラフ巨大地震に対する危惧が高まる中、三重工場におきましても防災対策(備品の配備)を進めています。





非常用ディーゼル発電機



防災備品倉庫



インマルサット衛星電話

## 7. 物流環境安全活動

生産活動での環境・安全活動と同様に物流部門でも環境・安全活動に取り組んでいます。運送会社の協力を得てアイドリングストップ活動に取り組み、環境保全に努めています。

当工場の製品の多くは消防法の危険物に当ることから、万が一の輸送中の事故に備え携行しているイエローカードに基づく通報訓練を定期的に工場と運送会社が連携して行っています。

又、製品を安全にお客様の元へお届けするには、交通事故の防止にも努めることも重要で、運送会社単位で自動車事故対策センターの適性診断を受けるなど、交通事故防止にも取り組んでいます。

**アイドリング  
STOP!**

環境保全活動を実施しています。  
次の事項を守って、環境保全活動にご協力をお願いします。

- ◎入門手続き後は、速やかに荷降ろし場所へ移動願います。
- ◎移動の際は、空ふかし・急発進・急ブレーキを避けて下さい。
- ◎荷降ろし場所へ着いたら速やかにエンジンを停止願います。

**ADEKA**  
Fusion for the Future

株式会社 ADEKA  
三重工場 製造管理課  
ADEKA 物流株式会社

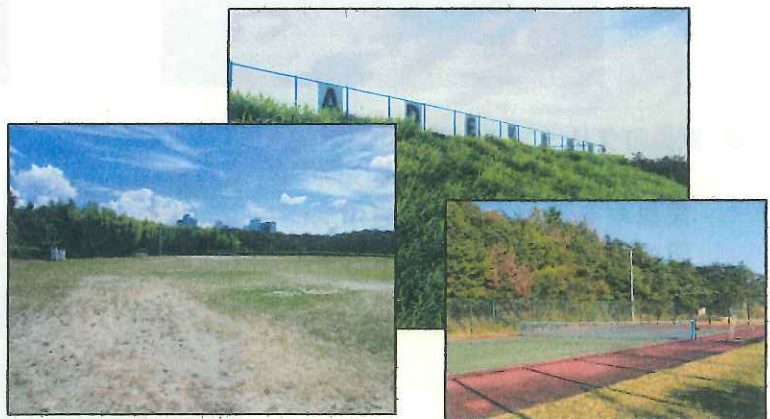
## 8. 社会貢献活動

### (1) 地域とのコミュニケーション

#### 1) 施設の開放

私たちは、地域との関わりを大切にしています。文教面では三重工場の野球場及びテニスコートを地域に開放しております。

特に野球場におきましては地元のスポーツ少年団のチームの育成などに活用して戴いています。



#### 2) 東員町農商工祭

2011年11月13日、地域産業の発展の一助となるべく、地域の商工会活動などにも積極的に参加しております。





#### 4) 東員町小学生・中学生勤労体験学習

2011年度は、地元中学校の要請により、5月11～13日(2名)と11月15～17日(2名)の二回に渡り勤労体験学習を実施しました。又、2011年2月9～10日には地元小学生2名の勤労体験学習も行いました。



#### 5) 地域ボランティア

三重工場では、毎週月曜日の朝に地元団地内の交差点二箇所で、小中学校の児童・生徒に対して交通指導を実施しています。



### (2) 清掃活動

#### 1) 工場周辺の一斉清掃

2011年6月10日、工場外の公道の両側の清掃を東西の外周に沿って例年通り実施しました。この活動は今後も引き続き定期的に行っていきます。



#### 2) 東員町クリーンアップ作戦参加

2011年11月27日、地元の東員町を流れる員弁川河川周辺に不法投棄されたゴミの撤去・回収に参加しました。





この環境・安全レポートに関する質問、ご意見は下記の窓口へお願いします。

作成 株式会社ADEKA 三重工場 環境・安全管理委員会事務局  
確認 株式会社ADEKA 三重工場 環境・安全管理責任者 江上富夫  
窓口 株式会社ADEKA 三重工場業務部業務課長 伊藤博也  
住所 〒511-0251 三重県員弁郡東員町山田 3707 番地の1

TEL 0594-76-2330(代) FAX 0594-76-3011

株式会社  ADEKA 三重工場 業務部業務課 TEL 0594-76-2330 FAX 0594-76-3011